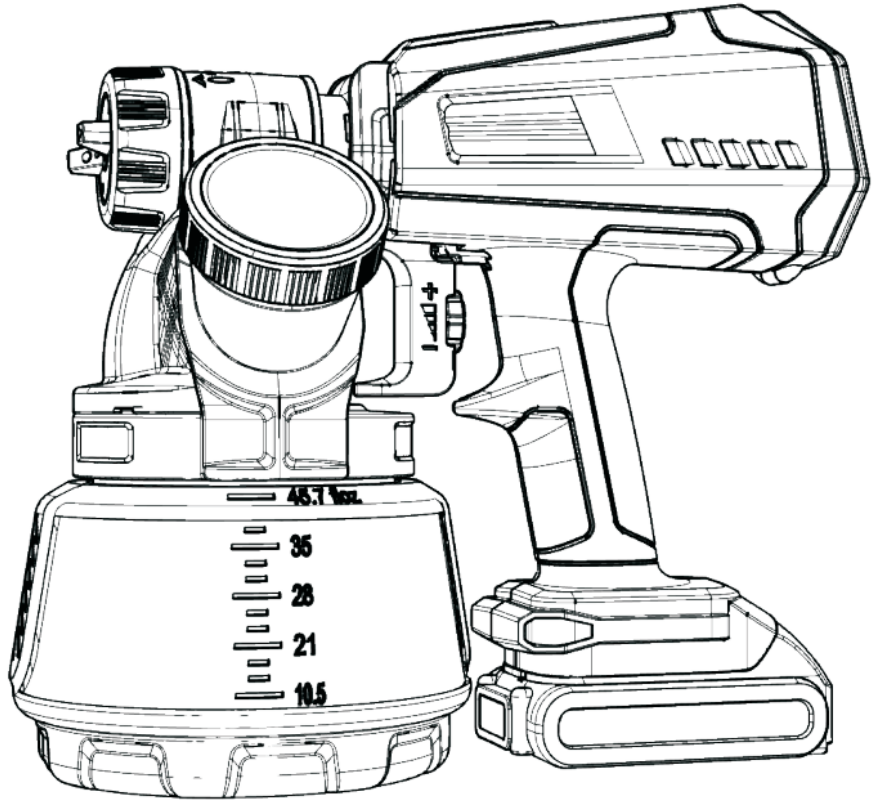
充電式スプレーガン保証書

型番	TM-PQ18VP	
お客様	お名前 ご住所　〒 お電話番号	
お買い上げ日		
保証期間:（お買い上げ日から） 本体一年間		
ご注文番号		

コードレス塗装スプレーガン

取扱説明書



このたびは充電式スプレーガンをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。 ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく お読みいただき本機の性能を十分ご理解 の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださる ようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してくだ さい。

型番：TM-PQ18VP

安全に関する指示　警語表示について

本書では、下記の警語表示を用いて説明しています。



警告内容を怠った場合、人が死亡、重傷を負い、または機械にダメージになる可能性が想定されることを示します。



保護手袋を着用してください。



防じんマスクを着用してください。木材、金属などの材料を取り扱うと、健康に有害なほこりが発生する可能性があります。 アスベストを含む材料で作業しないでください!



保護メガネを着用してください。

電動工具の安全警告

注意　すべての説明書をよく読んでください。
次に示すすべての指示に従わない場合は、感電、火災または重傷を招く恐れがあります。

今後の参考のため、すべての注意事項および指示を保管しておいてください。

T次に示すすべての警告における「電動工具」という用語は、電源式（コード）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

1）電動工具の安全に関する一般的な警告——作業場所での安全確保

a）作業場所はきれいに整理整頓して、十分な照明を確保してください。
散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
b）爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがあるところでは、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。
c）電動工具の使用中は、子供及び第三者を近付けないでください。
注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

2）電動工具の安全に関する一般的な警告——電気的安全性

a）電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグ及びそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
b）パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体の接触を避けてください。身体の接触を避けてください。身体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。
c）電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。
電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
d）コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を移動させたり、引っ張ったり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
コードは、熱、油、角の尖ったところ、または働くものからはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
e）電動工具を屋外で使用するときは、屋外の使用に適用した延長コードを使用してください。
屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
f）やむを得ず湿気の多い場所で電動工具を使用する場合、残留電流装置（RCD）で保護された供給品を使用してください。RCDの使用は感電の危険を減らします。

3）電動工具の安全に関する一般的な警告——人の安全性

a）電動工具の使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。
疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいる時は、電動工具を使用しないでください。
電動工具を使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
b）安全保護具を必ず使用してください。常に保護メガネを装着してください。
適切な状態で防じんマスク·滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓など安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。
c）偶発的な始動を避けてください。プラグに差し込むに必ずスイッチを「off」にしてください。
スイッチに指を掛けて電動工具を運んだり、スイッチが「on」の状態で電動工具のプラグを差し込むと、事故につながる恐れがあります。
d）電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーを付けたままにしておくと、人的傷害をもたらす恐れがあります。
e）無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。
これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
f）作業に適した服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品はにつけないでください。
髪、服および手袋を回転部に近付けないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
g）集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。
これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

4)電動工具の安全に関する一般的な警告——電動工具の使用及び手入れ

a）電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。
より適切、安全に作業ができます。
b）スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。
スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
c）調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントから抜くか、または電動工具から蓄電池を外してください。
このような予防的安全手段によって、電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
d）使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと危険です。
e）電動工具の保守を行ってください。電動工具の動作に影響する恐れがある可動部分の心ズレまたは締付け状態、部品の破損及びその他の状態を点検してください。
電動工具工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。
f）先端工具を適切に手入れして鋭利にしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
g）電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、それらの取扱説明書に従って使用する電動工具に合うように使用してください。
意図された作業と異なる作業に電動工具を使用すると、人的傷害をもたらす恐れがあります。

5)電動工具の安全に関する一般的な警告——サービス

a）電動工具の整備は有資格者の方のみ行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。電動工具を整備する場合、純正交換部品のみを使用してください。
これによって、電動工具の安全性を維持するこができます。
b）**注意!**
電動工具の整備は、本書に推奨された交換部品を利用しないことが、多くの事故の原因となります。純正交換部品のみを使用してください

安全にご使用いただくための警告事項

- 引火点55°C以上の塗料を利用ください。
- 爆発性雰囲気となる可能性のある危険場所にスプレー作業しないでください。
- 火気・可燃性のガス・液体のある場所で使用しないでください。
- 不明物質にスプレーしないでください。
- 塗装作業する前に、電源プラグをソケットから取り外してください。
- 可燃物を塗料として利用しないでください。
- 本機を洗浄の際、引火点55°C以下の洗浄溶剤を使用しないでください。
- 塗料の仕様書を十分理解の上、使用してください。
- ノズルに大きな力を加えないでください。

注意 ご注意：作業中、必ず保護マスクを着用してください。

バッテリー充電器に関する安全上のご注意

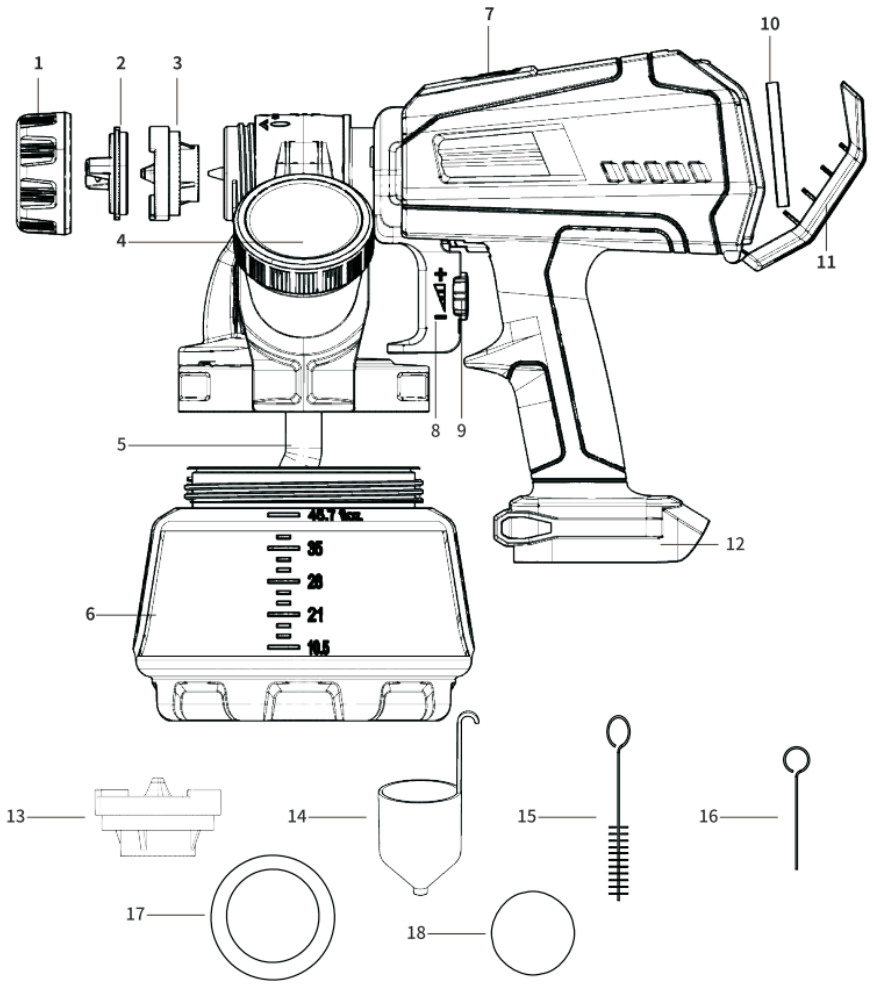
- バッテリー充電器は雨や湿気などにさらさないでください。
  水の浸入の原因で感電のリスクが増大します。
- 製品に搭載されたボッシュのリチウムイオン電池またはリチウムイオン電池のみを充電してください。充電器の修理は、有資格者まが行ってください。バッテリー充電器、ケーブル、プラグが損傷すると、感電の危険性が高まります。可燃性の高い場所で充電器を操作しないでください。
- 充電器の電圧とバッテリー電圧は一致にしてください。
  一致しないと、火災や爆発の危険性があります。
- バッテリー充電器はいつもきれいな状態でご使用ください。
  ゴミやホコリが付着すると、感電の危険があります。
- 使用する前に、バッテリー充電器、ケーブルまたはプラグの完全性を確認してください。 バッテリー充電器に損傷がある場合は、使用しないでください。 バッテリー充電器を自分で分解・修理しないでください。純正部品のみを使用してください。
  充電器、ケーブルまたはプラグの損傷は感電の原因となります。
- 充電は紙や布など、燃えやすいものの上で行わな いでください。また、まわりに燃えやすいものがない安全な場所で行ってください。
  充電中にACアダプターが高温になってこれらのものに引火し、 火災につながる危険があります。
- 子供が充電器で遊ばないように注意してください。
- この充電器は【対象年齢 8才以上用】です。また　身体障害、知的障害又は精神障害の低下する方、使用経験不足の方に対しては、監督指導が必要となります。
  そうでないと、誤操作による危険があります。

仕様

規格		TM-PQ18V	
定格電圧	18V DC	バッテリー容量	4.0Ah
塗料タンク容量	800mL	最大粘度	120DIN-s
ノズル径	1.5mm/2.5mm	最大噴霧量	900mL/min

作業する前に、保護具を着用してください。

各部の名称及び付属品



1）ナット	2）エアキャップ	3）ノズル
4）注入口キャップ/圧力開放キャップ	5）吸上げパイプ	6）容器
7）ロックボタン	8）トリガー	9）流量調整つまみ
10）エアフイルター	11）エアフイルターカバー	12）バッテリー接続部
13）ノズル	14）粘度カップ	15）ブラシ
16）クリーニングニードル	17）容器シールリング	18）注入口キャップ用シールリング

※ 1.5mmノズルは、家具など霧化性能を重視する小面積の吹き付け作業に適しています。
2.5mmノズルは、壁面など霧化要求がやや低い大面積の吹き付け作業に適しています。

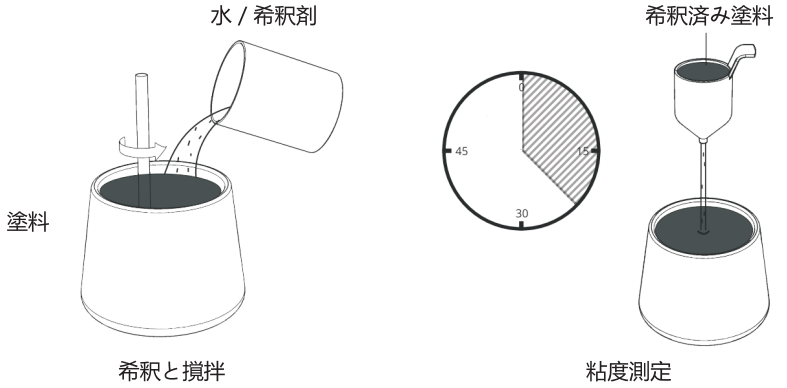
使用方法

1. 塗料の準備

塗料は通常、使用前に希釈する必要があります。表に従って塗料を希釈し、よく撹拌してから使用してください。希釈に使用するシンナーの種類は塗料メーカーにご確認ください。適切に希釈しない場合、塗料が噴射できない、吹き付け品質が悪くなる、過負荷による本体故障などの不具合が発生する恐れがあります。

吹き付け材料	希釈の目安
グレーズ（艶出し塗料）	無希釈
木材保存剤、媒染剤、オイル、消毒剤、植物保護剤	無希釈
溶剤系塗料・水溶性塗料、プライマー、車両用塗料、厚膜グレーズ	5~10%希釈

1）希釈後でも正常に噴射できない場合は、少量ずつシンナーを追加し、正常に噴射できるまで調整してください。過度な希釈は吹付け仕上がりに悪影響を及ぼすため注意してください。
2）希釈した塗料を塗料カップに注ぐ前に、必ずろ紙でろ過してください。塗料の固まりによるガンの詰まりを防止します。
3）粘度カップを使用して希釈完了か確認します。希釈済み塗料を粘度カップに入れ、塗料がすべて流出する時間を測定します。流出時間が120秒以内であれば適正、超える場合はさらに希釈してください。

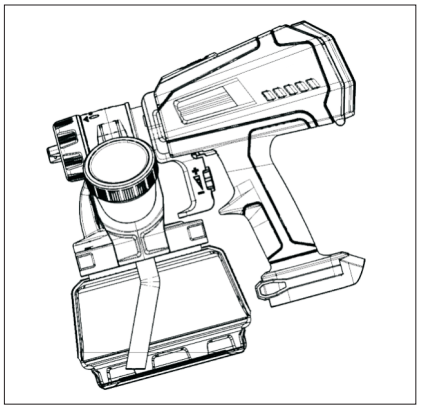


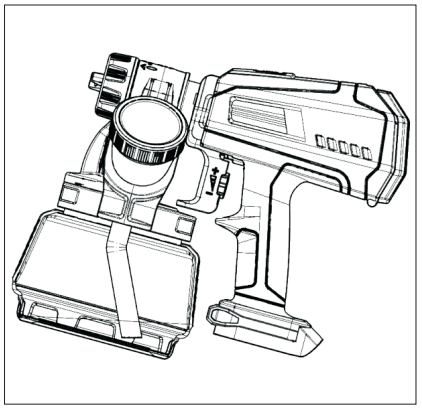
2. 被塗装面の処理

1）吹付け仕上がりは被塗装面の平滑度と清浄度に大きく左右されます。吹付け前に対象物の表面を平滑にし、ほこりを取り除いてください。
2）古い塗膜がある場合は、必ずサンドペーパーで除去してください。
3）吹付け不要な箇所はすべて養生し、塗料が付着しないよう保護してください。
4）対象物のネジ山などの部分も養生してください。
5）段ボールなどで事前に試し吹きを行い、適切な噴射条件を確認することを推奨します。

3. 吹付け設定と調整

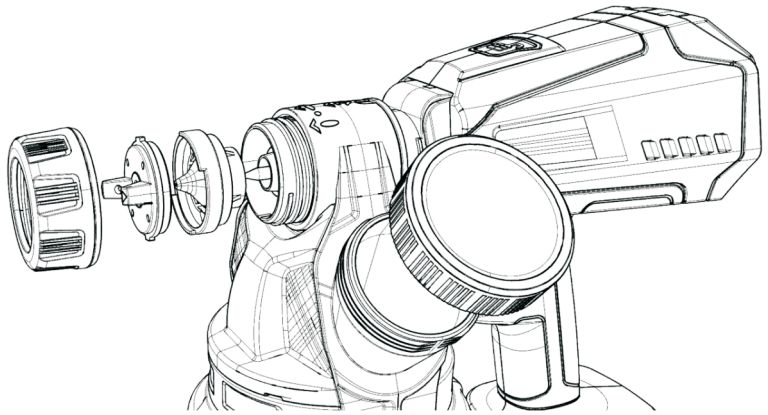
1）作業状況に合わせ吸引チューブの向きを調整してください。
吸引チューブを正しく配置すると、塗料カップ内に塗料残りがほとんどなくなります。
水平または下向きに吹き付ける場合：吸引チューブを前方へ回転させます。
上向きに吹き付ける場合：吸引チューブを後方へ回転させます。



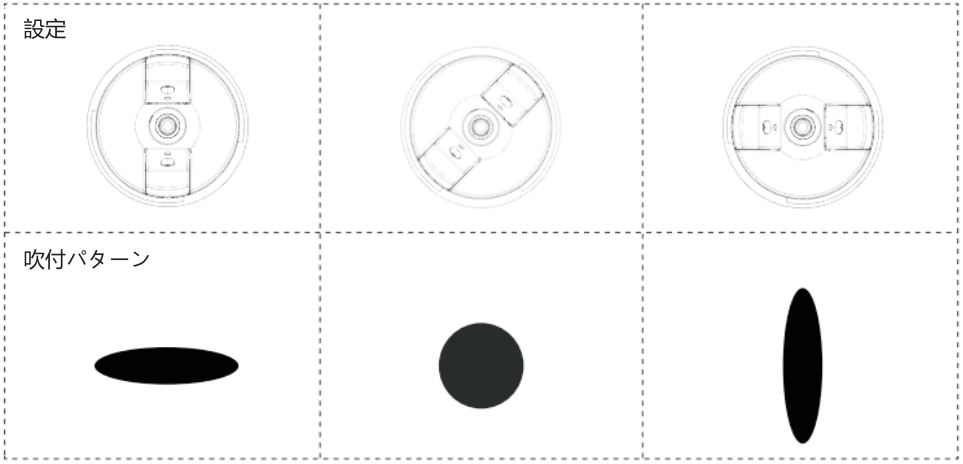


2）適切なノズルを取付・交換します。
塗料注入キャップ（圧力解放キャップ）を取り外し、ナットを緩めてエアーキャップとノズルを取り外します。用途に合ったノズルを選定し、ノズル、エアーキャップを取り付け、ナットを締め付けます。

警告： ノズル交換のためナットを緩める前に、必ず注入キャップを緩め圧力を解放してください。残圧によりノズルから塗料が噴出する恐れがあります



3）エアーキャップを回転させ、吹付けパターンを調整します。3 種類の吹付けモードがあり、作業条件に応じて選択してください。



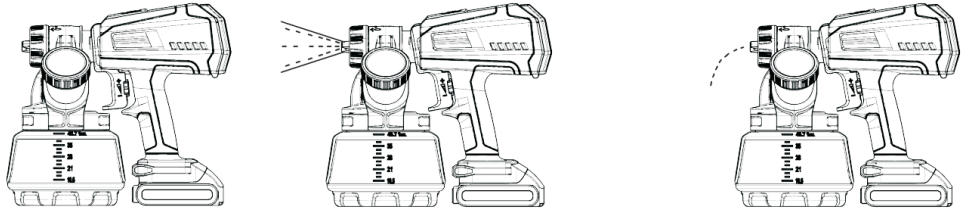
4）希釈・ろ過済みの塗料を、本機対応の塗料カップに注ぎ入れます。

5）塗料カップをスプレーガンにしっかり取り付けます。

6）バッテリーパックを装着します。バッテリーの端子形状と電圧が仕様に適合していることを確認してください。

7）ノズルを対象物から離します。トリガーを軽く引きモーターを起動させます。2秒経過後、トリガーを引き続け正常に霧化させます。正常な霧化が確認できたら対象物に近づけ吹き付けを開始します。

注意：本体保護のためブラシレスモーターはゆっくり起動する仕様です。起動直後の約2秒間は風圧が低く塗料が霧化しません。このタイミングでトリガーを最後まで引くと塗料が垂れ流しになり、対象物を汚す恐れがあります。



トリガーを軽く引きモーター起動

モーター起動後 2 秒経過してからトリガーをいっぱいに引く

正しい操作

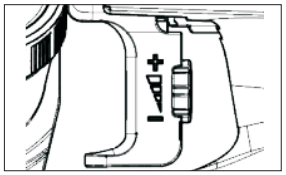
いきなりトリガーをいっぱいに引く

誤った操作

8）適切な吹付け量を調整設定します。吹付け量を抑えると、より緻密な仕上がりが得られます。スプレーガンのトリガー部にある調整ツマミで吹付け量を設定します。

「-」方向に回す：吹付け量減少

「+」方向に回す：吹付け量増加

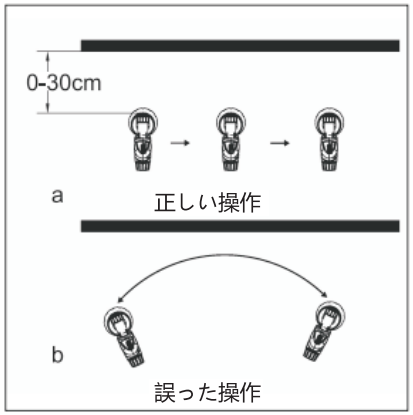


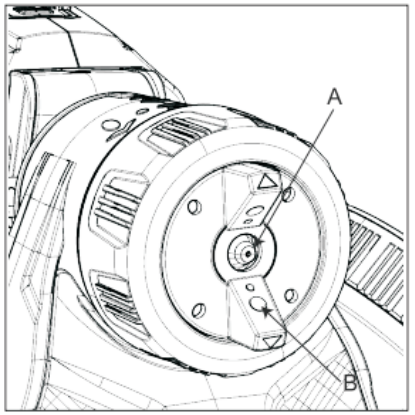
4. 吹き付け作業

****重要****：塗装対象エリアの外側から吹き付けを開始し、対象箇所で塗布が途切れることを防いでください。

正しい作業：スプレーガンを塗装物から約10-30cm離して保持し、ノズルを常に塗装面に対し垂直に向けて吹き付けてください。また移動速度を一定に保ち、塗膜厚みを均一にします。

誤った作業：塗料が過剰に溜まり、塗膜厚みがムラになる原因となります。



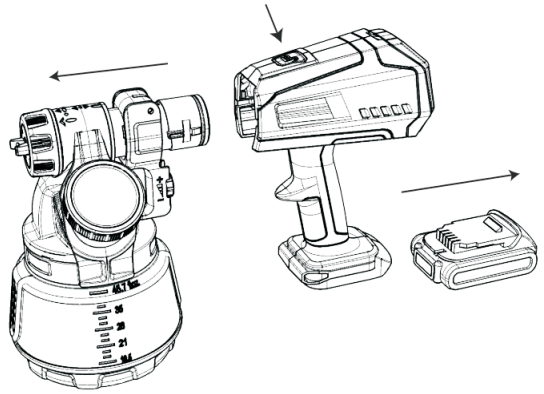


ノズル（A）およびエアーキャップ（B）に塗料が付着堆積した場合は、シンナーまたは水で洗浄し除去してください。

メンテナンスと洗浄

スプレーガンを正常に動作させるためには、適切な洗浄が必須です。洗浄が不十分だと詰まりが発生し、次回使用時に動作不良を引き起こします。油性塗料の洗浄にはシンナーのみ使用してください。水性塗料はシンナーまたは水で直接洗浄可能です。

1、本体の電源を切り、バッテリーパックを取り外します。ロックボタンを押し、ガン本体を取り外します。



2、塗料カップを緩めて取り外し、残った塗料を塗料缶に戻します。

3、吸引チューブを取り外し、ブラシを使って水またはシンナーで塗料カップとともに念入りに洗浄します。

4、塗料注入キャップ、ナット、エアーキャップ、ノズルの順に取り外し、ブラシと洗浄用ニードルで十分洗浄します。

5、ガン本体のその他の部品を水またはシンナーで洗浄します。

6、スプレーガンを組み立てます。

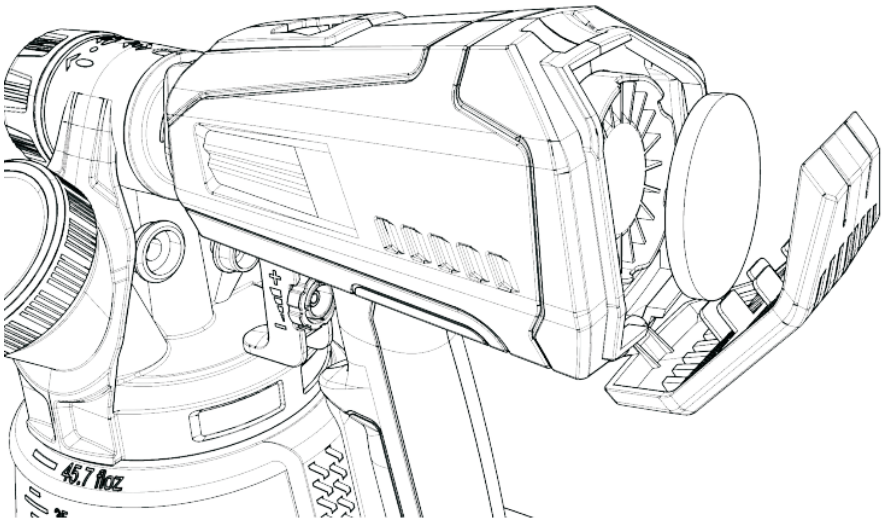
7、塗料カップに適量のシンナーまたは水を入れ、しっかり締め付けます。引火点 55℃以上のシンナーのみを使用してください。シンナーは刺激臭があるため屋外で作業し、防塵マスクと保護ゴーグルを着用してください。

8、バッテリーパックを取り付け、吐出液に色の残留物がなくなるまでトリガーを引いて噴射させます。

9、電源を切り、バッテリーパックを取り外します。

10、カップ内の残液を捨て、シンナーまたは水で湿らせた布でガン本体外面を拭き取ります。

11、エアフィルターの洗浄：フィルターカバーを開けてエアフィルターを取り外し、洗浄　　乾燥させてから再取り付けます。



12、スプレーガンは、ほこりがなく常温で乾燥した場所に保管してください。

※ 洗浄時は必ずバッテリーパックを取り外してください。バッテリー内部への浸水により安全上の危険が生じる恐れがあります。未使用時は本体とバッテリーパックを分離して保管してください。

トラブルシューティング

不具合現象	原因	処置方法
ノズルから塗料が出ない	ノズルが詰まっている	洗浄する
	供給チューブが詰まっている	洗浄する
	吐出量調整をマイナス (-) 側に回しすぎている	プラス (+) 側へ回す
	供給チューブが緩んでいる	しっかり差し込む
	カップ内に圧力がかからない	カップを締め直す
	塗料の粘度が高すぎる	塗料を希釈する
ノズルから塗料が垂れる	ノズルが緩んでいる	ノズルを締め付ける
	ノズルが摩耗している	ノズルを交換する
	エアーキャップ ・ノズル・ニードルに塗料が固着している	洗浄する
霧化が粗い	塗料の粘度が高すぎる	希釈する
	塗料の吐出量が多すぎる	吐出量調整ネジをマイナス(-)側へ回す
	ノズルが汚れている	洗浄する
	エアフィルターがひどく汚れている	交換する
	カップ内の圧力が不足している	カップを締め付ける

環境を守るをために



環境に優しい方法で製品本体及び付属品を回収ください。

廃棄する際に一般の家庭ゴミと区別する必要があります。

正しい廃棄、処理、再利用、リサイクルのため、指定された回収場所までお持ちください。